

上越信用金庫

DX戦略（2024～2026年度）

～『地域に必要とされ、選ばれる金融機関』になるための**変革への挑戦**～

【DXビジョンについて】

課題を解決し『地域に必要とされ、選ばれる金融機関になる』ために、**地域とともにDX推進**に取り組みます。

3か年経営計画（2024～2026年度）目指すべき姿

『**地域に必要とされ、選ばれる金融機関になる**』

現状の確認

【地域の課題】

- ・人口減少、少子高齢化
- ・事業所の減少

【外部環境の変化】

- ・顧客ニーズの多様化
- ・急速なデジタル化

【当金庫の課題】

- ・人手不足 + 新たな業務
- ・アナログ業務の残存

課題の解決には**DX推進が必要**。また、当金庫は地域と一体であり、地域の発展が当金庫の発展に繋がる。

DXビジョン

『**当金庫と地域の未来をデジタルでつなぐ**』
—地域とともにDXを推進し、互いに持続的発展—

DXで
全員が『幸せに』

地域
(お客さま)

地域の発展

当金庫

健全経営・安定収益

職員

職員満足度向上

※「DXビジョン」はグループウェアおよび、セミナーやイベントのチラシ等に掲載します。

【DX推進重点戦略について】

「DXビジョン」を目指して「**地域（お客さま）**」「**当金庫内**」「**職員**」の三者を対象にDX推進を行います。

戦略1.

地域へのデジタルサービス提供

■ 地域・お客さまのDX支援

地域のIT企業等と連携し、DX推進を目的としたセミナーの開催など地域・お客さまのDXを支援する取組みを行います。

■ お客さまとのデジタル接点の強化

お客さまとのデジタル接点、およびデジタルサービスの提供を強化することで、お客さまの利便性向上を図ります。

■ 当金庫のDX推進の取組み公開

戦略2.

業務のデジタル化促進

■ アナログ業務のデジタル化

ペーパーレス化を促進し、業務効率化を図ります。

■ 定型業務の自動化

事務フローの見直し、RPAによる自動化で生産性向上を図ります。

■ データ・AIの業務への活用

データ分析やAIを業務に活用し、生産性向上および業務効率化を図ります。

戦略3.

職員のデジタル対応

■ データドリブン[※]な組織風土の醸成

日常業務でデータを活用し、データに基づく意思決定を推進します。

■ 暗黙知の形式知化

個人の知識（暗黙知）を形式知化し、知識の共有化を図ります。

■ 全職員のデジタルリテラシー向上

全職員のデジタルリテラシー向上を目指し、教育の実施、体制の整備を行います。

※データドリブン：勘や経験ではなく、データに基づいて判断や行動をする方法

【DX推進のためのデジタル環境整備について】

「DXビジョン」を目指してDX推進を行うため、基盤となる**デジタル環境の整備**を行います。

項目 1.

インターネット環境の整備

- インターネットパソコンの更改
- 全店舗に電子メールアカウント開設
- インターネットで取得したデータを業務パソコンで受理する仕組みの導入（「データ授受サービス」の導入）

項目 2.

業務効率化に向けた環境の整備

- T M(テラズマシーン)の更改
- 渉外担当者におけるパソコン 1 人 1 台体制の構築
- 無線LAN設置店舗の拡大
- グループウェアへの機能集約

項目 3.

データ利活用に向けた環境の整備

- データの一元管理(データ統合基盤)
- クラウドの利活用
- データアクセスの促進
(必要な情報にスムーズにアクセスできることを目指します)

戦略 1.

地域へのデジタルサービス提供

戦略 2.業務のデジタル化促進

戦略 3.職員のデジタル対応

項目 4.

サイバーセキュリティ対策の強化

- ファイル・フォルダの閲覧権限の見直し
- サイバーセキュリティ勉強会の開催
- 電子メールにおけるPPAP(パスワード付きZIPファイル)の廃止

【取組項目】戦略 1. 地域へのデジタルサービス提供

地域・お客さまのDX推進を目指して、デジタルサービスの提供およびDX支援を行います。

テーマ.

地域・お客さまのDX支援 ー地域のDX推進を目指してー

- 地域DX推進パートナーシップの構築
地域のIT企業等と連携し、地域のDXを共に推進するための協力体制を整えます。
- 共同イベントやセミナーの開催
地域のDX推進をテーマとしたイベントやセミナーを開催し、DX推進を啓発します。
- 法人向けポータルサービス
「ケイエール」によるお客さま支援

テーマ.

お客さまとのデジタル接点の強化 ーお客さまの利便性を向上ー

- WEBサイトの全面更改
- 来店予約サービスの拡充
- 公式SNSの開設
- 「通帳アプリ」の機能拡充
- 全店舗へ電子メールアカウント開設
- コミュニケーションチャットツール
「しんきんDirect」の導入検討

テーマ.

当金庫のDX推進の取組み公開 ーお客さまへDX情報提供ー

- 当金庫のDX推進の取組みを公開し情報提供を行うことで、地域・お客さまのDX推進を図ります。

【取組項目】戦略2. 業務のデジタル化促進

「業務効率化」および「働きやすい職場づくり」を目指して、業務のデジタル化およびデータ活用を促進します。

テーマ.

アナログ業務のデジタル化

—ペーパーレス化を促進—

- 各種報告・申請のペーパーレス化
(電子承認・決裁—ワークフローシステムへの切り替え)
- 業務でのタブレット端末の利用
(窓口業務、保険商品販売業務)
- 届出書類のデジタル保管
- 本支店間コミュニケーションのデジタル化

テーマ.

定型業務の自動化

—業務の見直しも行い効率化—

- 業務フローの見直し
- マクロやスクリプトの活用
- グループウェアのアプリを活用
- 本部における集計・入力業務へのRPA導入検討

テーマ.

データ・AIの業務への活用

—業務効率化を目指して—

- ビッグデータ活用基盤「しんきんDB」の導入・利活用の検討
- AIによるデータ分析の活用
AIによるデータ分析を行い、成約率の向上およびDM・営業活動の効率化を目指します。

【取組項目】戦略3. 職員のデジタル対応

全職員が**デジタル技術に対応**し、日常業務で効果的に活用できることを目指します。

テーマ. データドリブンな組織風土の醸成 ーデータから変化を捉えるためにー

- データの一元管理の検討・実現
- データ分析ツール（BIツール）の導入および活用の検討
- データリテラシー勉強会の開催
データリテラシーの向上を目指して、データの収集、分析、活用について理解を深めます。

テーマ. 暗黙知の形式知化促進 ー知識の共有・継承のためにー

- 「FAQ(よくある質問)システム」の展開・利活用促進
- マニュアルの整備、共有化
- 「デジタル統合文書管理基盤(金庫内の文書を一元管理し、検索や共有を容易に行うプラットフォーム)」の検討、構築

テーマ. 全職員のデジタルリテラシー向上 ーデジタル人材^{※1}を目指してー

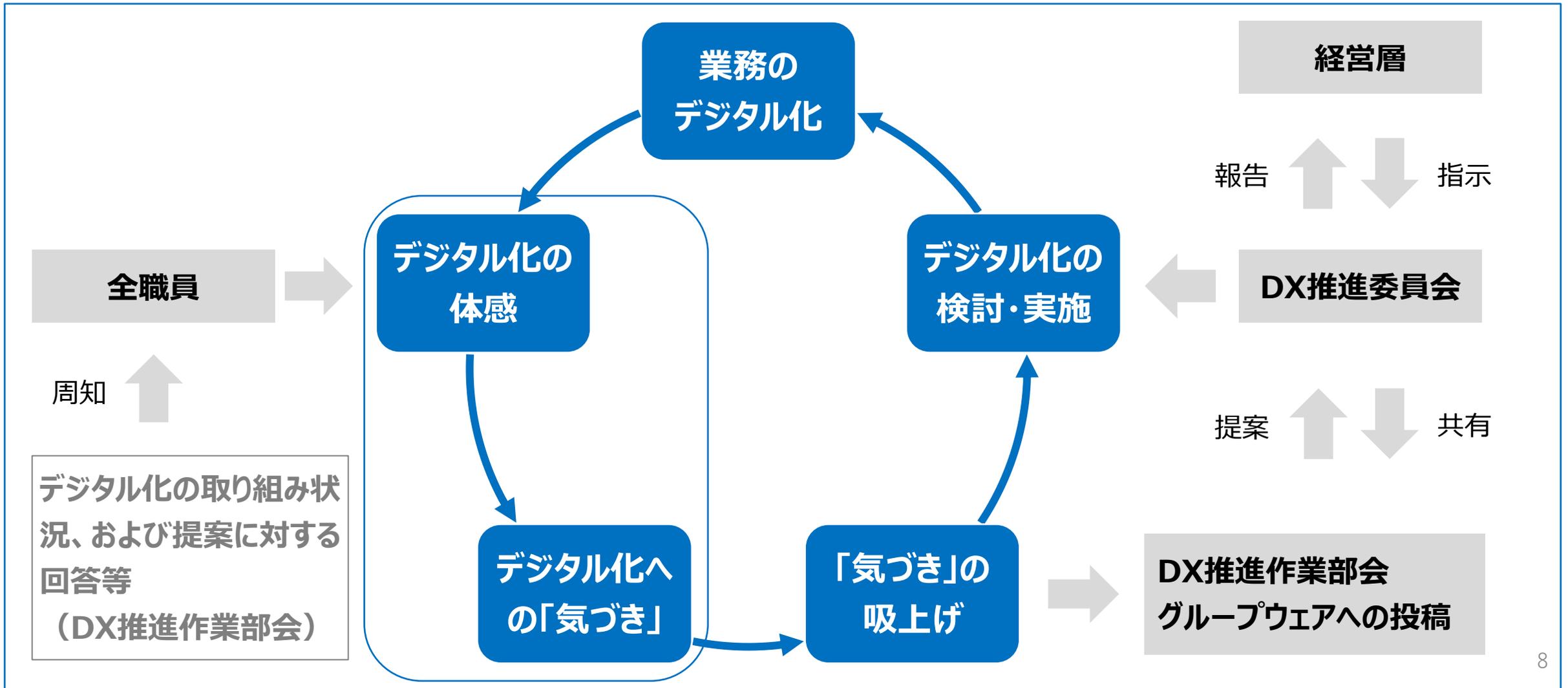
- 資格取得奨励制度の導入
デジタル関連の資格^{※2}取得を奨励し、学習支援を実施します。
- 信金中央金庫eラーニングシステム「Sels」の利用
- デジタルリテラシー勉強会の開催
デジタルリテラシー向上を目指して、デジタル基礎から業務効率化ツールの操作方法まで習得します。

※1 デジタル人材：デジタル技術を活用して業務を効率化し、DXを推進できる人材

※2 デジタル関連資格：ITパスポート試験（情報処理推進機構）、DXサポート（銀行業務検定試験）

【DX推進を継続する仕組みについて】

DX推進を継続するため、職員の「気づき」(アイデア)を次のデジタル化につなげる仕組みを構築します。



【DX評価指標について】

DX推進の進捗を評価するために総合的な指標として「**DX推進指標**」※を設定し、戦略ごとにKPIを設定します。

総合指標

「DX推進指標」による自己診断を毎年実施します。

戦略ごとのKPI

戦略ごとにKPIを設定し、四半期ごとに経営層へ報告します。

戦略 1 .

地域へのデジタルサービス提供

- 地域・お客さまのDX支援数
(セミナー等開催数含む)
- デジタルサービス利用顧客率

戦略 2 .

業務のデジタル化促進

- デジタル化に移行した業務の数
(ワークフローシステムへの切替帳表数含む)
- データ分析プロジェクト数

戦略 3 .

職員のデジタル対応

- 「FAQシステム」登録質問数
- 奨励デジタル関連資格取得者数
- デジタルリテラシー勉強会受講率

※DX推進指標：経済産業省が作成した指標で、自社のDX進行度の自己診断に利用可能なツール(レベル0～レベル5)

【DX推進計画】

「DXビジョン」の達成を目指し、テーマごとに取り組む項目と実行の時期を計画し、実行していきます。

項 目		1年目（2024年度）	2年目（2025年度）	3年目（2026年度）
【戦略1】 地域へのデジタルサービス提供	地域・お客さまのDX支援	地域DX推進パートナーシップの構築、セミナーの開催 事業者向けポータル「ケイエール」によるお客さま支援		
	お客さまとのデジタル接点の強化	WEBサイト更改、機能拡充	通帳アプリ拡充	
			公式SNSの開設	Eメール全店展開
	当金庫のDX推進の取組み公開		取組状況の定期的な公開	
【戦略2】 業務のデジタル化促進	アナログ業務のデジタル化	営業店窓口業務へのTB利用		保険商品 販売でのTB
		ワークフローの取組み		
	定型業務の自動化		マクロ・スクリプトや RPAによる自動化実施	
データ・AIの業務への活用	AIによるデータ分析	しんきんDB		
【戦略3】 職員のデジタル対応	データドリブンな組織風土の醸成		データ分析ツール（BIツール） データリテラシー勉強会	
	暗黙知の形式化促進	FAQシステム	デジタル統合文書管理基盤	
	全職員のデジタルリテラシー向上	デジタル関連資格取得奨励制度、e-ラーニングによるデジタルリテラシー向上 勉強会（データに関する勉強会含む）の開催		

【DX推進のためのデジタル環境整備計画】

DX推進のためのデジタル環境を整備するため、各項目の取り組み時期を計画し、実行していきます。

項 目		1年目（2024年度）	2年目（2025年度）	3年目(2026年度)	
【項目1】 インターネット環境の整備	インターネットパソコンの更改	▶			
	全店舗に電子メールアカウント開設		▶		
	「データ授受サービス」の導入	▶			
【項目2】 業務効率化に向けた 環境の整備	TMの更改		▶		
	渉外担当者のPC1人1台体制	▶			
	無線LAN設置店舗拡大	▶			
【項目3】 データ利活用に向けた 環境の整備	データの一元管理			▶	
	クラウドの利活用			▶	
	データアクセスの促進			▶	
【項目4】 サイバーセキュリティの強化	ファイル・フォルダの閲覧権限の見直し	▶			
	電子メールにおけるPPAPの廃止			▶	
	サイバーセキュリティ勉強会の開催	▶			

このふるさとが誇りです。



上越信用金庫